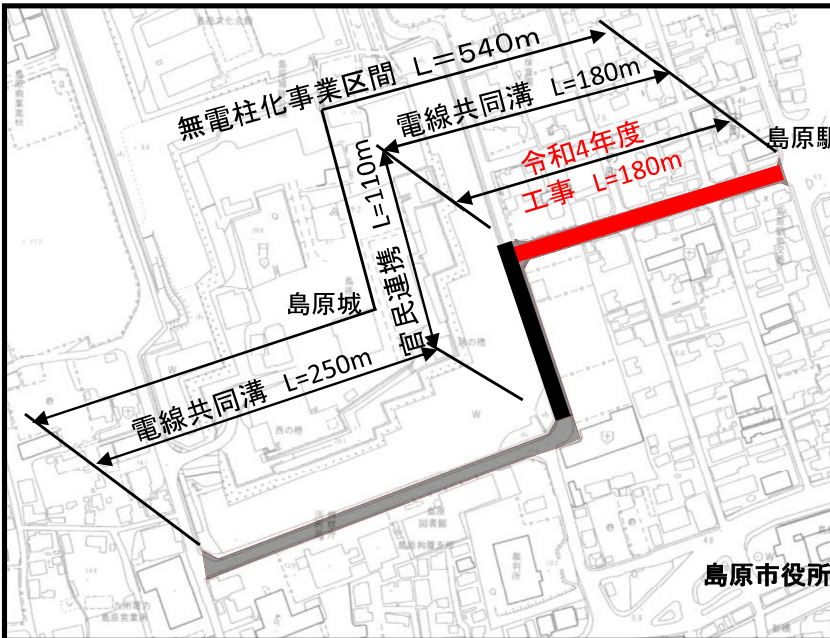


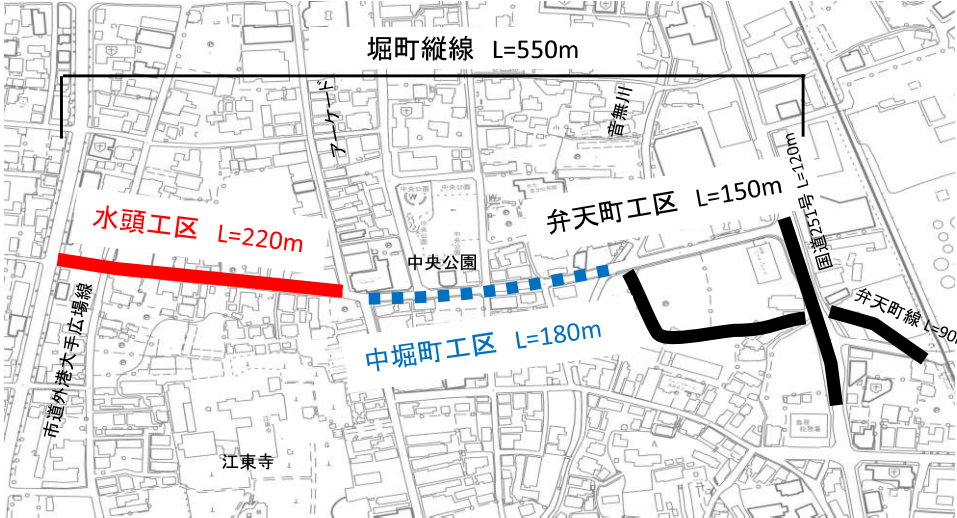
事業名	【継続・人口減少対策】 土木建築人材育成事業																												
当初予算額	財 源 内 訳 (単位: 千円)																												
	国 費	県 費	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源																								
150					150																								
事業期間	平成27年度～			総事業費																									
【事業目的】																													
定住対策として、土木建築関係の資格取得者に対し受験料の支援を行い、人材育成及び人口流出の抑制を図ります。																													
【事業概要】																													
≪事業期間≫ 平成27年度～ ≪対象者≫ 市内在住者で下記に示す資格を取得した者で、かつ市税を滞納していない者																													
・ 建築士 ・ 土木施工管理技士 ・ 管工事施工管理技士 ・ 造園施工管理技士 ・ 建設機械施工技士 ・ 建築施工管理技士 ・ 電気工事施工管理技士 ・ 電気通信工事施工管理技士 ➡ 資格合格者に対して 受験料全額補助																													
事業費 単位: 千円																													
	H27 実績	H28 実績	H29 実績	H30 実績	R1 実績	R2 実績	R3 見込	R4 要求	合計																				
決算額	72	136	194	135	154	117	195	150	1153																				
資格取得者数	6人	7人	14人	9人	5人	11人	13人	10人	75人																				
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 10%;">科 目</td> <td style="width: 10%;">8 款</td> <td style="width: 10%;">1 項</td> <td style="width: 10%;">1 目</td> <td style="width: 20%;">目 名 称</td> <td style="width: 20%;">土木総務費</td> <td style="width: 20%;">道 路 課</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="writing-mode: vertical-rl; text-align: center;">事業計画</td> <td colspan="3">前 年 度 ま で</td> <td colspan="2">今 年 度</td> <td>来 年 度 以 降</td> </tr> <tr> <td colspan="3">上記事業概要と同じ (受験料平均15千円×20人)</td> <td colspan="2">上記事業概要と同じ (受験料平均15千円×10人)</td> <td>引き続き実施予定</td> </tr> </table>										科 目	8 款	1 項	1 目	目 名 称	土木総務費	道 路 課	事業計画	前 年 度 ま で			今 年 度		来 年 度 以 降	上記事業概要と同じ (受験料平均15千円×20人)			上記事業概要と同じ (受験料平均15千円×10人)		引き続き実施予定
科 目	8 款	1 項	1 目	目 名 称	土木総務費	道 路 課																							
事業計画	前 年 度 ま で			今 年 度		来 年 度 以 降																							
	上記事業概要と同じ (受験料平均15千円×20人)			上記事業概要と同じ (受験料平均15千円×10人)		引き続き実施予定																							

7. 安全で安心して暮らせる快適なまちづくり

当初予算書

233P

事業名		【継続】 無電柱化事業				
当初予算額		財源内訳 (単位：千円)				
		国費	県費	地方債	その他 一般財源	
113,000		62,150		48,200	70 2,580	
事業期間		平成30年度～令和6年度 (複数年事業)			総事業費	
					600,000	
【事業目的】 島原市の玄関口である島原駅と主要観光地である島原城とを結ぶ重要な路線の無電柱化を実施し、都市災害の防止、都市景観の向上を図ります。 併せて、島原城周辺の歩道を整備して歩行者の安全を確保し、交通事故の防止を図ります。						
【事業概要】 無電柱化事業 L=540m 官民連携無電柱化支援事業 L=110m 電線共同溝整備事業 L=430m 歩道整備事業 L=540m 令和4年度 電線共同溝整備工事 L=180m ○国費補助率 55%						
				整備前		
						
				整備後		
						
科目	8 款	2 項	2 目	目名称	道路維持費	道路課
事業計画	前年度まで			今年度		来年度以降
	歩道測量設計 官民連携無電柱化 L=110m 電線共同溝測量設計			電線共同溝整備工事 L=180m		歩道工事 電線共同溝整備工事

事業名		【継続】 堀町縦線整備事業				
当初予算額		財 源 内 訳 (単位：千円)				
		国 費	県 費	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
154,224		29,641		115,400		9,183
事業期間		平成30年度～令和9年度 (複数年事業)			総事業費	1,100,000
【事業目的】						
本路線は、音無川、中央公園、アーケードを經由し、国道251号と市道外港大手広場線を結ぶ市道です。 市道周辺は、商業施設、観光施設が多く立地しており、車や歩行者の通行量も多く、市街地中心部の交通混雑の解消や、学童通学、歩行者の安全を確保するため整備を行います。また、整備により地域住民及び観光客の利便性が向上し、地域の活性化につながるものです。						
【事業概要】						
令和4年度は、水頭工区の早期完成に向けて照明灯設計、建物調査、用地取得及び建物補償を行い事業の進捗を図ります。						
  水頭工区(起点)  水頭工区(終点)						
科目	8 款	2 項	3 目	目名称	道路新設改良費	道路課
事業計画	前年度まで			今年度	来年度以降	
	(弁天町工区) 測量及び設計土地評価、建物調査 用地取得及び建物補償 改良工事 (水頭工区) 測量及び調査			(水頭工区) 用地取得及び建物補償 改良工事	(水頭工区) 用地取得及び建物補償 改良工事	

7. 安全で安心して暮らせる快適なまちづくり

当初予算書

235P

事業名		【継続】 道路メンテナンス事業					
当初予算額		財 源 内 訳 (単位：千円)					
		国 費	県 費	地 方 債	そ の 他 一 般 財 源		
55,332		28,600		16,200	10,532		
事業期間		平成26年度～令和5年度 (複数年事業)			総事業費 500,000		
【事業目的】							
- 平成22年度に橋長15m以上の33橋及び25・26年度に15m未満の232橋、令和元年度に計画更新として追加・未計上の橋梁を含めた合計269橋の橋りょう長寿命化修繕計画を策定し、対策が必要な橋梁の長寿命化工事を実施しています。 - 平成26年6月に国土交通省が定めた「橋梁定期点検要領」により、5年に1回定期点検を行う必要が生じたため、点検を計画的に進めます。 ※令和3年度、新地橋撤去に伴い令和3年度末時点268橋							
【事業概要】							
- 市が管理する268橋を平成26年度から5年に1回の頻度で定期点検を実施し、劣化度の高い橋梁から調査設計、補修工事を行い、橋梁の長寿命化を図ります。 - 定期点検の結果に基づき橋梁長寿命化計画の見直し、更新を行います。							
【効果】							
橋梁の劣化による突発的な落橋を防ぐとともに、長期的に渡る通行止めの回避を図り、第三者被害の防止を目指します。							
○国費補助率 55%							
							
科目	8 款	2 項	4 目	目名称	橋りょう新設改良費	道路課	
事業計画	前年度まで			今年度		来年度以降	
	点検(第2回) 169橋			点検(第2回) 70橋		点検(第2回) 22橋	
	調査設計 25橋			調査設計 0橋		調査設計 0橋	
	補修工事 18橋			補修工事 5橋		補修工事 1橋	

7. 安全で安心して暮らせる快適なまちづくり

当初予算書

249P

事業名	【継続】 霊南山ノ神線整備事業				
当初予算額	財源内訳 (単位：千円)				
	国費	県費	地方債	その他	一般財源
31,483	5,688		18,700		7,095
事業期間	平成27年度～令和5年度 (複数年度事業)			総事業費	790,000

【事業目的】

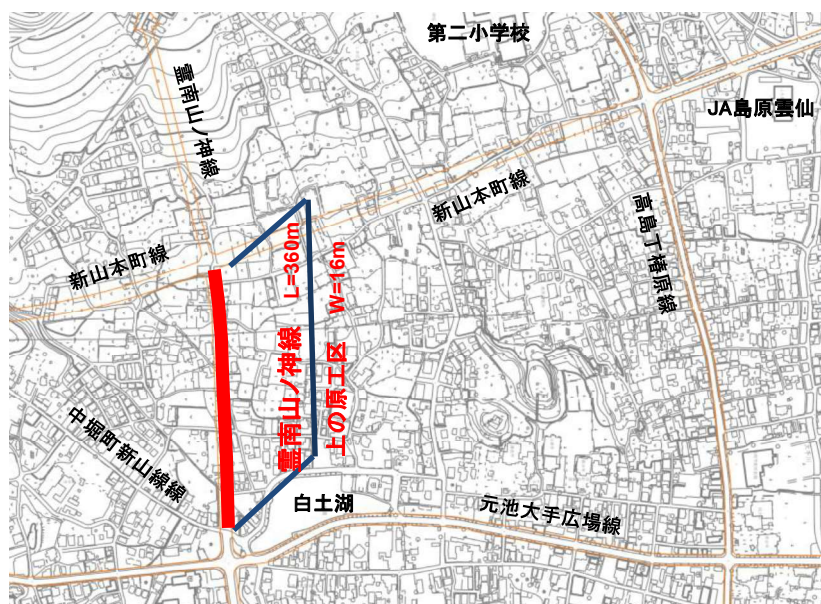
本路線は、「国道251号」（蛭子町一丁目）から島原郵便局、白土湖、上の原二丁目を経由し、島原総合運動公園を結ぶ都市計画道路です。

本事業は、市街地中心部の交通混雑の解消を目的とするとともに、本事業個所は、狭小な道路しかなく、緊急車両の通行に支障をきたし、学童の通学においても危険であることから整備を行い、地域住民の安全性及び利便性の向上と地域の活性化を図ります。

【事業概要】

平成27年度より市道「中堀町新山線」交差点から都市計画道路「新山本町線」交差点までの約360m区間（上の原工区）の整備を行っております。

令和4年度は、都市計画道路「新山本町線」交差点付近の建物調査、用地取得及び建物補償を行います。



白土湖交差点から山側



新山本町線交差点から海側

科目	8 款	5 項	3 目	目名称	街路整備事業費	都市整備課
事業計画	前年度まで			今年度		来年度以降
	測量及び設計、建物調査 用地取得及び建物補償 改良工事 延長L=310m			用地取得及び建物補償		改良工事 延長L=50m

7. 安全で安心して暮らせる快適なまちづくり

当初予算書

249P

事業名		【継続】 親和町湊広場線整備事業				
当初予算額		財 源 内 訳 (単位：千円)				
		国 費	県 費	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
71,000		11,337		42,400		17,263
事業期間		令和2年度～令和11年度 (複数年事業)			総事業費	1,960,000

【事業目的】

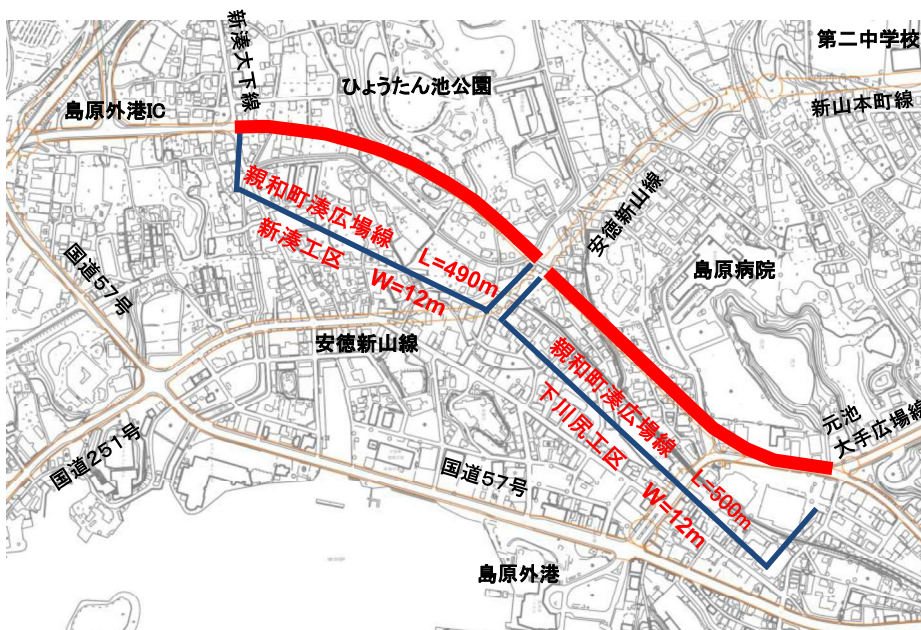
本路線は、「国道57号」（親和町）からひょうたん池公園、島原病院入口付近を経由し、「国道251号」（白山町）を結ぶ、都市計画道路です。

外港周辺や島原病院から島原中央道路島原外港 I C へのアクセス道路としての役割を持ち、市街地中心部の交通混雑の解消を図ります。また、本事業箇所は、狭小な道路しかなく、緊急車両の通行に支障をきたすだけでなく、学童の通学においても危険であることから整備を行い、地域住民の安全性及び利便性の向上と沿線地域の良好な市街地形成を図ります。

【事業概要】

令和2年度より市道「新湊大下線」（ひょうたん池公園入口）交差点から都市計画道路「元池大手広場線」交差点までの約990m区間（新湊工区：約490m 下川尻工区：約500m）の整備を行っております。

令和4年度は、新湊二丁目の市道「新湊大下線」交差点の照明灯設置工事と交差点付近の改良工事、建物調査、用地取得及び建物補償を行います。





ひょうたん池公園入口付近



幅員狭小市道(南下川尻町)

科目	8 款	5 項	3 目	目 名 称	街路整備事業費	都市整備課
事業計画	前年度まで			今年度		来年度以降
	土地評価・建物調査 用地取得及び建物補償			建物調査 用地取得及び建物補償 改良工事 L=30m 照明灯設置工事 N=4箇所		建物調査 用地取得及び建物補償 改良工事

7. 安全で安心して暮らせる快適なまちづくり

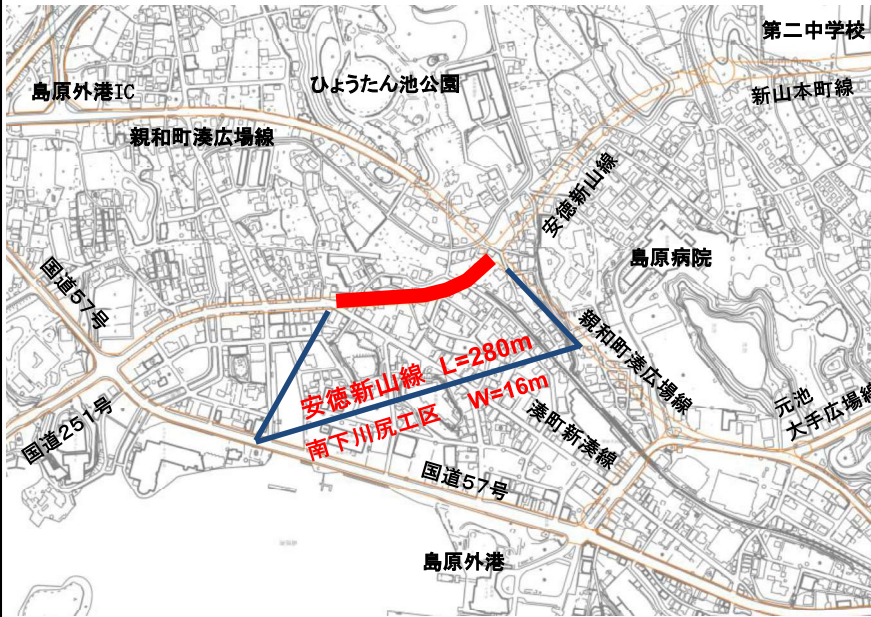
当初予算書

251P

事業名		【継続】 安徳新山線整備事業				
当初予算額		財源内訳 (単位：千円)				
		国費	県費	地方債	その他	一般財源
312,166		60,032		193,000		59,134
事業期間		令和2年度～令和8年度 (複数年事業)			総事業費	850,000

【事業目的】
本路線は、「国道251号」水無川橋から秩父が浦町の「国道57号」交差点、緑町を經由し、都市計画道路「新山本町線」へ接続する都市計画道路です。
外港周辺や島原病院から「国道251号」へのアクセス道路としての役割を持ち、市街地中心部の交通混雑の解消を図ります。また、本事業箇所は、狭小な道路しかなく、緊急車両の通行に支障をきたすだけでなく、学童の通学においても危険であることから整備を行い、地域住民の安全性及び利便性の向上と沿線地域の良好な市街地形成を図ります。

【事業概要】
令和2年度より南下川尻町の市道「湊町新湊線」交差点から緑町の都市計画道路「親和町湊広場線」交差点までの約280m区間（南下川尻工区）の整備を行っております。
令和4年度は、南下川尻町の市道湊町新湊線から都市計画道路親和町湊広場線との交差点までの約280m区間の建物調査、用地取得及び建物補償、改良工事を行います。



島原外港IC
ひょうたん池公園
親和町湊広場線
国道57号
国道251号
安徳新山線 L=280m
南下川尻工区
W=16m
湊町新湊線
島原病院
親和町湊広場線
元池
大手広場線
島原外港
第二中学校
新山本町線



市道湊町新湊線(南下川尻町)付近



現況幅員狭小市道(下川尻町)

科目	8 款	5 項	3 目	目名称	街路整備事業費	都市整備課
事業計画	前年度まで			今年度		来年度以降
	土地評価・建物調査 用地取得及び建物補償			建物調査 用地取得及び建物補償 改良工事 L=50m		建物調査 用地取得及び建物補償 改良工事

事業名	【継続】 街路整備事業費負担金【新山本町線整備事業】				
	財 源 内 訳 (単位：千円)				
当初予算額	国 費	県 費	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
6,300			6,000		300
事業期間	平成26年度～令和4年度 (複数年度事業)			総事業費	1,750,000

【事業目的】

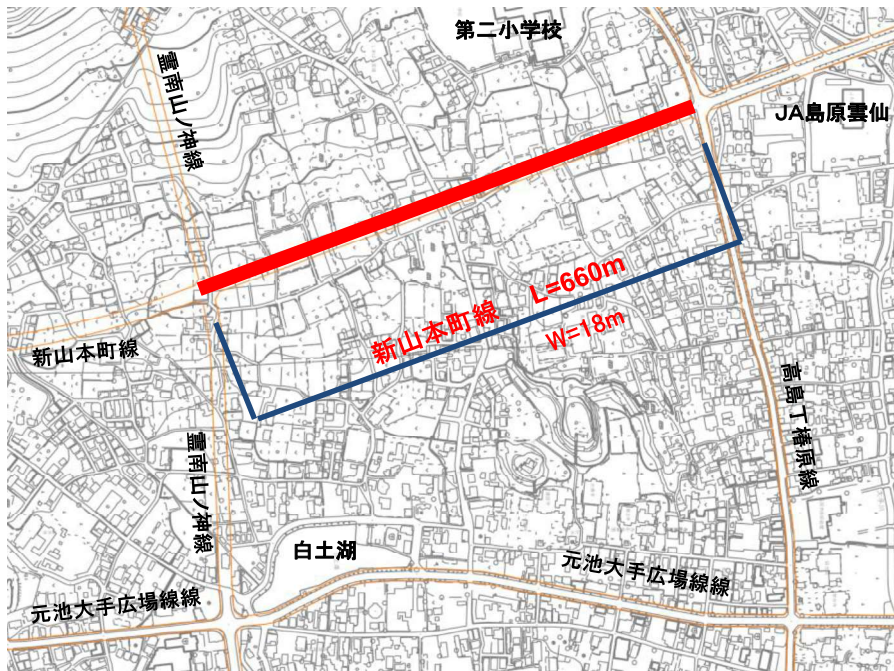
本路線は、新山一丁目から、上の原一丁目、柿の木町、柏野町を經由し、本町の県道「野田島原線」を結ぶ都市計画道路です。

県営事業として、都市計画道路「霊南山ノ神線」交差点から都市計画道路「高島丁椿原線」交差点までの約660m区間の整備に対する負担金です。

本路線の整備により、市街地中心部の幹線道路である「国道251号」や都市計画道路「元池大手広場線」の交通混雑の解消を図ります。併せて、本事業個所は、狭小な道路しかなく、緊急車両の通行に支障をきたすだけでなく、学童の通学においても危険であることから整備を行い、地域住民の安全性及び利便性の向上と沿線地域の良好な市街地形成を図ります。

【事業概要】

県営事業の負担金で、令和4年度は、改良工事及び確定測量が実施されます。



高島丁椿原線(萩原三丁目)交差点付近



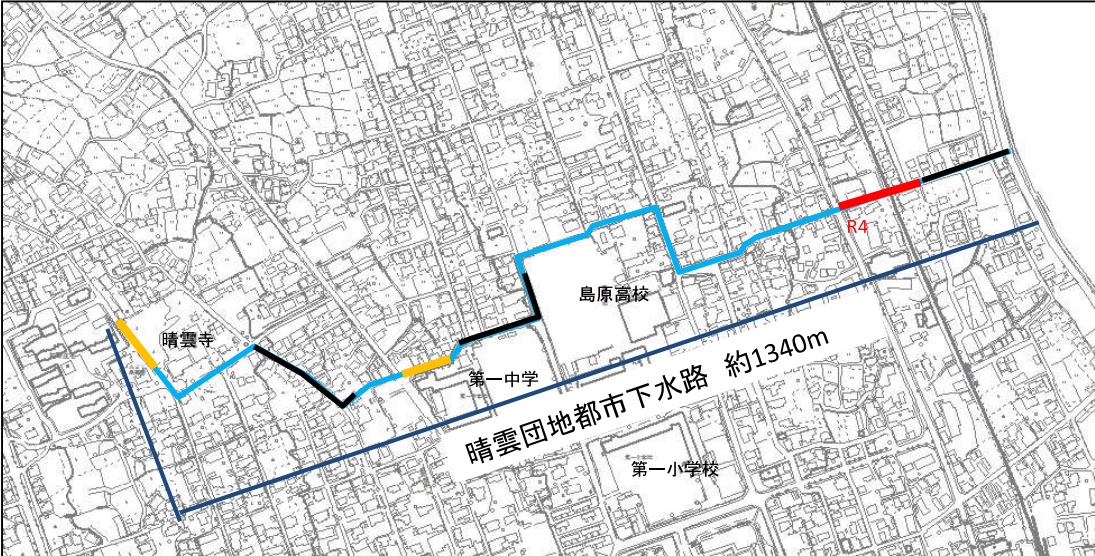
現況幅員狭小市道(上の原三丁目)

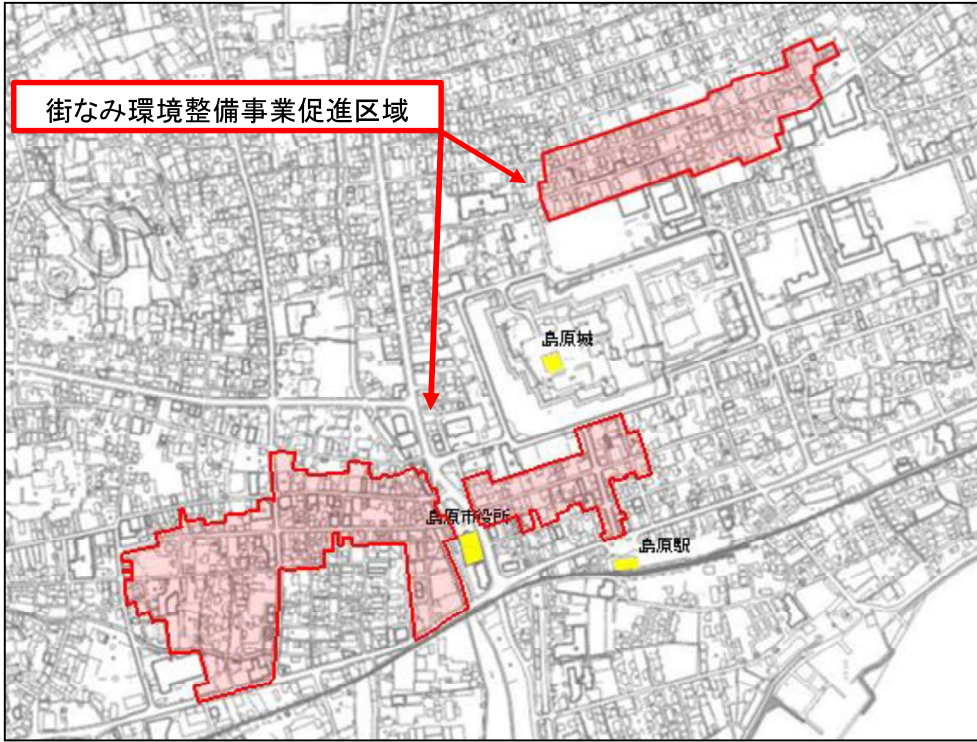
科目	8 款	5 項	3 目	目名称	街路整備事業費	都市整備課
事業計画	前年度まで			今年度		来年度以降
	測量及び設計 建物調査 用地取得及び建物補償 改良工事			改良工事 L=150m 確定測量		—

7. 安全で安心して暮らせる快適なまちづくり

当初予算書

251P

事業名		【継続】 晴雲団地都市下水路改修事業			
当初予算額	財源内訳 (単位：千円)				
	国費	県費	地方債	その他	一般財源
13,800			13,100		700
事業期間	平成27年度～令和6年度 (複数年事業)			総事業費	91,070
【事業目的】 晴雲団地都市下水路は、昭和36年から施設が建設され、50年以上を経過し、コンクリート構造物の劣化に伴う施設の損傷が見られる箇所があります。 平成27年度実施した老朽化調査の結果から、劣化状況に応じた改修補強工法により、施設の改修工事を行い、施設の長寿命化を図りながら、計画的な維持管理を行います。					
【事業概要】 田町から南柏野町までの延長約1,340mについて、老朽化調査により損傷が確認された556m区間の改修工事を年次計画により実施するものです。					
 都市下水路内を撮影 コンクリート床板内の鉄筋が腐食し、破損している状況 					
科目	8 款	5 項	4 目	目名称	都市下水路費
事業計画	前年度まで			今年度	都市整備課
	老朽化調査及び 補修補強設計 改修工事 L=274m			改修工事 L=50m	来年度以降 改修工事

事業名		【継続】 街なみ環境整備事業補助金				
当初予算額		財 源 内 訳 (単位：千円)				
		国 費	県 費	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
2,500		481				2,019
事業期間		平成12年度～			総事業費	
【事業目的】 市の象徴である湧水と城下町の歴史を活かした街なみ景観を整備保存する為、建築物の所有者等が行う修景事業に助成することで、観光振興や中心市街地の活性化を図ります。						
【事業概要】 平成12年度から事業を実施しており、令和4年度は、9つの協定地区内において、城下町の景観を形成する建物等の修景工事に助成を行います。						
						
科目	8 款	5 項	5 目	目名称	街なみ環境整備事業費	都市整備課
事業計画	前年度まで			今年度		来年度以降
	修景工事補助 80件			修景工事補助 1件		年間1件程度

事業名	【継続】市営住宅整備事業				
	財源内訳 (単位: 千円)				
当初予算額	国費	県費	地方債	その他	一般財源
192,800	44,460		39,200	109,140	
事業期間	令和元年度～			総事業費	

【事業目的】

柏野住宅は経年劣化のため、外壁・屋根等の改修工事を実施し、施設の長寿命化を図ります。
 稗田団地及び桜馬場住宅は公共施設等総合管理計画により廃止を予定しており、入居者が移転した空き棟から解体します。また、稗田団地及び杉山団地は借地のため、建物解体後、跡地の原形復旧工事を行い地権者へ返還します。
 設置後10年以上経過した火災警報器は、電子部品の劣化等により火災を感知しないおそれがありますので、人的及び建物被害を最小限に防ぐため機器の更新を行います。

【事業概要】

- ① 柏野住宅……3棟30戸の屋根・外壁改修工事設計業務（もみじ、つつじ、やなぎ棟）
- ② 柏野住宅……3棟26戸の屋根・外壁改修工事（けやき、くす、きり棟）
- ③ 稗田団地、桜馬場住宅……3棟（8戸）の解体工事
- ④ 稗田団地跡地（4,293㎡）、杉山団地跡地（3,218㎡）の原形復旧工事
- ⑤ 火災警報器取替工事……2団地（新山団地、梅園団地76～81棟、450個）

①② 柏野住宅



③ 稗田団地



③ 桜馬場住宅



⑤ 火災警報器



科目	8 款	6 項	1 目	目名称	住宅管理費	都市整備課
事業計画	前年度まで			今年度		来年度以降
	・ 柏野住宅屋根・外壁改修工事設計業務 ・ 柏野住宅屋根・外壁改修工事 ・ 稗田・杉山団地、坂上住宅解体工事 ・ 稗田・杉山団地跡地境界復元測量業務 ・ 稗田団地跡地原形復旧工事 ・ 火災警報器取替工事 ・ 島原市営住宅長寿命化計画更新業務 ・ 市営住宅遊具等点検業務			・ 柏野住宅屋根・外壁改修工事設計業務 ・ 柏野住宅屋根・外壁改修工事 ・ 稗田団地、桜馬場住宅解体工事 ・ 稗田団地跡地、杉山団地跡地原形復旧工事 ・ 火災警報器取替工事		・ 花の丘団地屋根・外壁改修工事設計業務 ・ 柏野住宅屋根・外壁改修工事 ・ 桜馬場住宅、霊南住宅、梅園団地解体工事 ・ 火災警報器取替工事

事業名	【継続】 老朽危険空き家除却支援事業				
	財 源 内 訳 (単位：千円)				
当初予算額	国 費	県 費	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
7,500	3,750				3,750
事業期間	平成28年度～			総事業費	

【事業目的】

空家等対策の推進に関する特別措置法（空き家に関する施策を総合的かつ計画的に実施するための基本的な指針）が示されたことにより、老朽化し危険な空き家住宅の除却を行う方に、その除却費の一部（最大50万円）の補助を行うものです。

【事業概要】

補助対象 不良住宅の除却等に要する費用
（補助率：補助対象工事費の40％、限度額50万円）

事業効果 老朽危険空き家を除却することで、防災性や防犯性を向上させ、良好な景観を形成します。



着手前



解体後

科目	8 款	6 項	4 目	目名称	空き家等対策事業費	都市整備課
事業計画	前年度まで			今年度		来年度以降
	老朽化し危険な空き家の除却に要する費用に補助 (71件)			老朽化し危険な空き家の除却に要する費用に補助 (15件)		引き続き実施予定

事業名	【拡充】 浄化槽設置整備事業				
当初予算額	財 源 内 訳 (単位：千円)				
	国 費	県 費	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
255,914	90,525	45,034		58,412	61,943
事業期間				総事業費	

【事業概要】

単独処理浄化槽や汲み取り便槽から合併処理浄化槽への転換を促進するために、基金を活用し住民の方の負担軽減を図り、汚水処理人口普及率（県平均82.5%に対し島原市50.3%）を向上させ、有明海や河川等の水質保全に努めます。

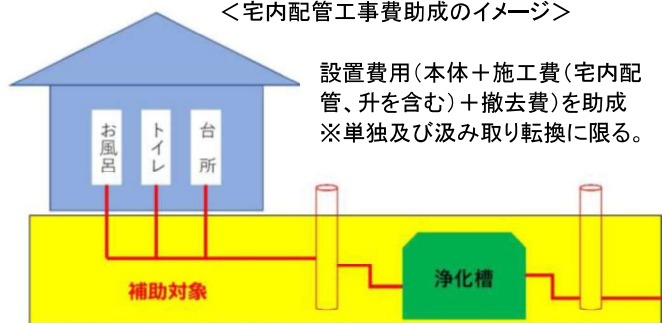
- ①設置費に対する高度処理型の補助制度を開始します。
- ②既存家屋の合併転換に対する市独自の上乗せ補助を行います。（時限措置あり）
- ③既存家屋の改築に伴う宅内配管工事費への補助を行います。

令和4年度から創設						
	通常型（現状）	浄化槽設置費			既存家屋の改築に伴う宅内配管工事費への補助	撤去費
		高度処理型	既存家屋の合併転換に対する上乗せ補助	合計		
5人槽	332,000円	384,000円	288,000円	672,000円	300,000円	90,000円
7人槽	414,000円	462,000円	346,000円	808,000円		
10人槽	548,000円	585,000円	438,000円	1,023,000円		

<例>

既存家屋の改築に伴い単独処理浄化槽や汲み取り便槽から合併処理浄化槽（5人槽）へ転換する場合
補助額＝浄化槽設置費（672,000円）＋宅内配管工事費（300,000円）＋撤去費（90,000円）＝1,062,000円

<宅内配管工事費助成のイメージ>



科目	8 款	7 項	1 目	目名称	下水道費	道路課
事業計画	前年度まで			今年度		来年度以降
	6,247基を設置			上記事業概要と同じ (300基を設置)		引き続き実施予定